

第3回

チャレンジ!!



ゼロカーボン



登別市は、2050年までに温室効果ガス排出量『実質ゼロ』を目指す、『ゼロカーボンシティへの挑戦』を表明しました。

地球温暖化によるリスクを軽減し、持続可能なまちづくりを実現するため、家庭のできるゼロカーボンアクションを紹介します。

問い合わせ 環境対策グループ (☎ 05 2 9 5 8)



再生可能エネルギーを利用しよう

【環境省ウェブサイトより】

再生可能エネルギーは、CO₂を排出せず、繰り返し利用できるエネルギーです。

資源を消費せずに利用できる再生可能エネルギーを利用し、エコな暮らしをしましょう。

電気の契約を再エネ電力に切り替えよう

再エネ電力は、太陽光や風力、バイオマスなどの再生可能エネルギーにより発電された電力のことです。

石油や石炭などの化石燃料による発電は、発電するときにCO₂が発生しますが、再生可能エネルギーによる発電は、CO₂が発生しません。

小売り電気事業者の多くが、再エネ電力を電源としたプランを用意しており、発電設備を設置しなくても、契約を切り替えるだけで再生可能エネルギーを利用できます。

太陽光パネルを設置しよう

家屋の屋根や空いた土地などに太陽光パネルを設置し、その電気を活用することで、毎月の光熱費を大幅に節約できます。

昼間に発生した電力を賢く使い、余った電気は蓄電池に貯めたり、お湯を沸かしたりするほか、電力会社に売ることも可能です。

また、災害時に停電した場合でもその電力を使うことができます。

なお、市が実施している『エール建設券発行事業』は、太陽光発電設備（住宅用の太陽光パネル、定置型蓄電池）の整備にも利用できますので、9月30日(金)までに申請手続きをお願いします。

※詳しくは、市公式ウェブサイトをご覧ください。



市公式ウェブサイト



9月20日(火)～26日(月)は 動物愛護週間 です



動物を飼うことは、命を預かることです。動物について正しい知識を持ち、適切な飼い方をして、動物の健康と安全に気を配り、最後まで責任を持って飼いましょう。

問い合わせ 環境対策グループ (☎ 05 2 9 5 8)



犬を飼うときの注意

- 飼い始めた日から30日以内に市内の動物病院か環境対策グループで登録の手続きをしてください。
- 狂犬病の予防注射を年に1回、必ず受けさせてください。
- 散歩には袋を持参し、ふんは必ず持ち帰りましょう。また、飼い犬には必ずリードを付けてコントロールできるようにしてください。



猫を飼うときの注意

- 猫は屋内で飼育してください。
- 飼育していない猫に餌を与えるのは絶対にやめてください。猫が他人に迷惑をかけた場合、継続して餌を与えた方の責任になることがあります。

マイクロチップの装着について

令和4年6月から、販売業者による犬・猫へのマイクロチップ装着が義務化されました。

マイクロチップには個体識別番号が記録されており、犬や猫が迷子になったときなどに、その番号からデータベースに登録した飼い主の情報が確認できるため、飼い主の元に帰れる可能性が高まります。

～こんなときは飼い主情報の登録や変更が必要です～

- ・ 新たに犬や猫を購入したとき
- ・ マイクロチップ装着済みの犬や猫を譲り受けたとき
- ・ 飼い犬や飼い猫に新たにマイクロチップを装着したとき

※詳しくは、環境省ウェブサイトをご覧ください。



環境省ウェブサイト



令和4年度犬魂祭

(登別市獣医師会主催)

クリンクルセンターに搬入された飼い犬などを供養するため、犬魂祭を開催します。

日時 9月26日(月)13時～13時30分
場所 クリンクルセンター犬魂碑前

